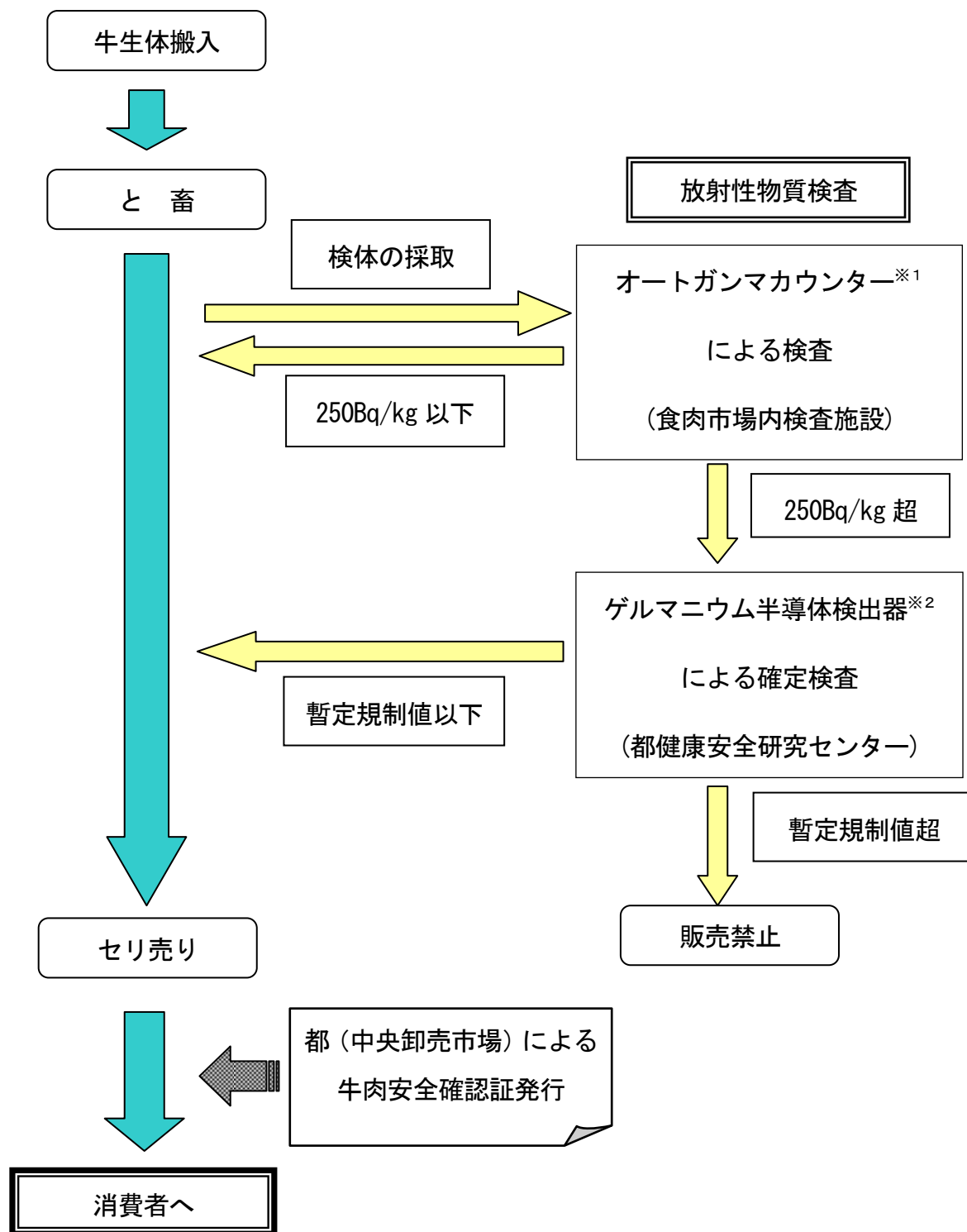


〈牛肉の放射性物質検査の流れ〉



※1 オートガンマカウンター

放射性物質を比較的簡便に測定できる機器で、少量の検体量（20g程度）で短時間に多くの検体を測定するのに適しています。検査精度はゲルマニウム半導体検出器に比べると低くなるため、スクリーニング検査用として用います。

※2 ゲルマニウム半導体検出器

放射性物質を高い検査精度（数Bq/kg以下）まで正確に測定することができる機器です。

専用の設置場所と特別な維持管理が必要となり、また、測定にも時間を要します。暫定規制値を超えているかの確認に必要な機器です。